

石巻健育会病院 渡邊 大地子(2階病棟 看護師)

功 績 夜勤専従看護師として病棟業務に従事する中で、看護計画に基づいたケアが統一して行われるよう、ワークシートに記載されている看護処置一つ一つに、看護問題の番号を紐づけて表示したり、看護記録の内容を細かく分析し、記録の現状を可視化させグラフ化して他メンバーへ周知するなど様々な工夫を凝らし、事例発表を通して他メンバーへ周知するなど、病棟の枠を超え、看護部全体での記録の意識向上へ貢献した功績。

推 薦 者 2階病棟 看護師長 遠藤 千恵

推 薦 理 由 チームナーシングでの現状の課題に目を向け、「手筈を整える」という視点でメンバーへ教育的な視点で関わっていただけただけの事で 自分の記録のあり方を振り返った看護師も多く、看護の質の向上へ貢献している事例として理事長賞に推薦させて頂きます。

内 容

渡邊さんは、入職してから6年間夜勤専従看護師として勤務頂いております。

看護部では、ナイチンゲールの教えを看護実践に活かす取り組みを行っています。さらにKOMIチャートを記載し、ケアの評価に役立てています。夜勤専従という事もあり、日中のケアについての話し合いがどのようにされているのか、自分の立てた看護計画が受け持ち患者さんの現状に合っているか常に不安があり、日々の業務の中で、看護計画を看護記録が連動されていない現状もあり、渡邊さん自身も他のメンバーが立てた看護計画の具体策が見えず、実践に活かされていないのではないかと疑問を持ちました。そこで、渡邊さんは普段チームで使用しているワークシートの一つ一つの処置に焦点を置き、どの看護計画が連動されているかを色分けして表示しました。また、記録する際に、必ず看護計画を見返すことが出来るよう、看護問題の番号を付箋で表示したりと「忙しい中でも気付くことが出来る工夫」を凝らしました。また、記録の実施内容が看護計画に連動されているか可視化して分かるようにグラフ化して周知するなどの工夫もしてくれました。その結果、看護計画の見直しがされ、計画と連動した記録が定着し、メンバーの意識が大きく変わりました。以前は、出来事をそのまま記録することが多かったのですが、取り組み後は、看護計画と結びつけて記録することのほうが多くなりました。

看護計画に基づいた根拠のある看護が行われるよう「手筈を整えること」について、病棟の枠を超え看護部内の事例発表会で発表してくれました。その結果、生命過程判定で現状維持だった患者さんの項目が改善することにもつながりました。